

編集後記

◆安倍政権は、憲法を改悪し、「公」のために私たちの人権を奪い、集団的自衛権を認め、自衛隊を「国防軍」にしようとしている。

◆憲法を変えなくとも、自衛隊は中国包囲の米国のアジア戦略の中で防衛大綱の見直しを検討しているし、米海兵隊と合同の離島防衛の軍事訓練を行ってきた。

◆首都防衛Ⅱ市民を弾圧する治安部隊の先兵としての陸自第一空挺団の今年の降下訓練始めは、海自P3C哨戒機も加わり、離島防衛の戦闘訓練だった。

◆また、アベノミクスのもと、緊急経済対策としてPAC3地对空誘導弾ミサイル、F15戦闘機などの軍備の購入を決めた。まさに、不況対策に名を借りた軍需産業の育成に他ならない。私たちは、日・米軍の共同作戦や軍需産業の拡大・武器輸出に対抗していかなければならない。

◆「第九条の会ヒロシマ」の意見広告は、毎年8月6日に新聞掲載され、当会も賛同している運動です。今年は参院選前の6月に行われます。ご協力を呼びかけます。(有馬保彦)

◆吉川勇一著「民衆を信ぜず、民衆を信じる」を会員特別価格(半額、1400円)にてお頒けします。ご希望の方は事務局まで!

◆編集委員 阿部めぐみ、天野恵一、有馬保彦(本号担当)、杉内蘭子、高橋武智、西田和子、對馬芳(次号担当)、野澤信一(次号担当)、本野義雄、諸橋泰樹、吉川勇一、吉田和雄

会計報告

「日本人で、安全より安心よりお金が一番」と言うのがよく判りがっかりです。昨年6月に飯館村の知り合いを訪ね『死の町』発言で更迭された大臣がいましたが、本当のことです。放射線が高くて全村避難です。人、犬、猫、牛、馬、カエル、トンボ、鳥さえいません。帰還困難地区長泥の近くまで行ってみました。

音一つなくシーンと恐くなりました。知人は県の命令に逆らい和牛、ポニーを世話しています。村で一人だけです。他の牛飼は皆、牛を処分してしまいました。福島でも自民党が当選し、ふん、原発と一緒に生きていけばと思ってしまうました。今年届いた年賀状の一枚にこう書かれていました。年賀状に、こんなことを書かずにはいられなかったこの国のありように、私も怖くなりました。

さて、今号の会計報告は恒例の2012年度の総額を掲載します。支出は、夏の大整理関連の出費や事務局開所日の増加により交通費などが増えましたが、減少したものもあり前年とほぼ同程度です。しかし、昨年は退会者が多く、会費収入の減少により赤字の繰越となりました。その変わりに言うことはできませんが、カンパが思いのほか増えたので、会の基本会計はまだまだ安泰です。こんな状況だからこそめげてはいられません。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

(上口)

市民の意見30の会・東京 2012年1月～12月会計

1. 損益計算書(会基本会計)

収入の部	
一般会費	1,425,500
協力会費	530,000
敬老会費	1,589,000
障害者会費	40,000
(会費小計)	3,584,500
カンパ	1,367,440
市民の意見販売	33,500
グッズ等販売	26,500
雑収入(*1)	7,300
銀行利息(*2)	4,047
収入計	5,023,287
支出の部	
印刷費(*3)	1,571,601
発送費(*4)	947,720
通信費	214,486
備品費(*5)	30,850
会場費	13,000
消耗品費(*6)	361,337
編集経費	240,755
交通費	432,720
家賃	1,100,000
光熱費	87,579
手数料	9,370
諸会費(*7)	73,000
雑費(*8)	139,197
支出計	5,221,615
収支	▲198,328
前年度より繰越	6,247,771
今年度残高	6,049,443
3. 今年度残高(次年度への繰越金)	
会基本会計	6,049,443
条約基金	176,715
F/I基金	1,165,820
預り金	210,400
計	7,602,378

(単位:円)

注(*1) 読者懇談会1回、事務所貸出2回。(*2) ゆうちよ銀行他普通預金受取利息。(*3) 『市民の意見』130号～135号印刷費。(*4) 『市民の意見』129号～134号発送費。(*5) 『市民の意見』保管用フロアケース購入。(*6) 角2封筒、振替用紙、発送用ラベル、トナー、コピー用紙代等。(*7) 各意見広告への賛同金及び運動へのカンパ。(*8) 粗大ゴミ処理費、ゴミ処理券、ゴミ袋、お茶菓子代他。※なお、意見広告への立替金の繰越額は、事務所家賃および光熱水費、電話料金など合計¥246,216でした。次期会計にて預かり金(賛同金)と相殺いたします。